

2025_0418「オーロラシーズンの終わり（写真）」日々の理科 3907号
お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

2024年の8月下旬に始まった、今シーズンのオーロラも、終わりに近づいています。春分を過ぎて、北極圏でも夜よりも昼の時間が長くなり、白夜の季節が近づいてきたからです。クリスマスの頃には、午後4時から翌朝8時近くまで見えていたオーロラも、4月中旬になると、午後10時から午前2時ぐらいの短時間しか観望できなくなります。しかし今シーズンは太陽の活動が極めて活発なので、シーズン終盤に入っても、目をみはるようなオーロラが出現を続けています。

この日のオーロラも、見たこともないような鮮やかで美しいものでした。典型的な緑色の「バンド・オーロラ」（カーテン状のオーロラ）なのですが、磁力線に沿って現れる「オーロラ・レイ」が一本一本はっきりしています。遠くには赤いオーロラまで写っています。この調子でいくと、5月に入ってからでもオーロラを観測できる可能性もあります。

(2025年4月中旬／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス駅／東京から遠隔観測)

